



わくわく、どきどきの入園式

4月12日に入園式を行いました。当日は、年少さんのお友だち59名をお迎えしました。年少さんのクラスは、こあら組とらっこ組です。お家の人と手をつないでの入場では、少し緊張した面持ちでした。しかし、式の中では、園長先生やお客様のお話をしっかり聞くことができました。特に、先生方が演じたパネルシアターは興味津々で、登場する動物の様子を熱心に見入っていました。

翌週の15日から年少さんの登園が始まりましたが、みんな元気に幼稚園に来ています。お友だちをたくさんつくって、楽しい幼稚園生活を送ってほしいと願っています。



絵本の読み聞かせの効用

幼稚園では、様々な場面で絵本の読み聞かせをしています。降園前だったり、活動を切り替える場面であったり、1日の活動の中で意図的に絵本の読み聞かせを取り入れています。その読み聞かせの時の子どもたちの態度がよいことや、絵本の世界にしっかり入り込んでいる様子に感心しています。このように絵本の読み聞かせは、子どもたちの情緒の安定や集中力の向上につながっています。

また、ご家庭での絵本の読み聞かせは、親子のコミュニケーションの場にもなります。小さい時から絵本に触れることで、子どもたちの心は豊かに育っていきます。



たけのこ、おいしいね

年長さんは今が旬のたけのこを味わいました。まずは、大学の職員の方に幼稚園の斜面にあるたけのこを掘ってもらい、その様子を見学。次に掘られたたけのこを実際に手に触れ、たけのこの皮をむいて、たけのこの皮の感触やにおいを肌で感じました。皮をむいたたけのこは先生方にゆがいてもらいました。ゆがいたたけのこを小さく刻むのは子どもたちの役割です。味付けは土佐煮。昼食時に自分たちが作った「たけのこの土佐煮」を味わいました。多くの子どもたちから「おいしい」の聲が上がりました。



ピカピカ、大作戦

子どもたちの遊びは、砂場遊び、虫さがし、氷鬼、縄跳び、滑り台などさまざまです。その中でも人気なのが砂場遊びです。砂でケーキを作ったり、おかしを作ったり、お山を作ったりしています。その時に活躍するのが、型抜き用の容器、バケツやスコップなどの道具です。こうした容器や道具をきれいにするのがピカピカ、大作戦です。週末になると当番の子どもたちは、水が入ったたらいに砂や土で汚れたプラスチックの容器や道具を入れて、スポンジできれいに洗っていました。自分たちで遊んだものは、自分たちできれいにしていく姿を頼もしく思いました。

